

● Activities ●

DOCOMO R&D Open House 2015開催

2015年11月26日（木）、27日（金）の2日間にわたってNTT DOCOMO R&Dセンター（神奈川県横須賀市）におきましてNTT DOCOMOおよびNTTグループの最新の研究開発成果を紹介するDOCOMO R&D Open Houseを今年も開催しました[1]。

ドコモR&Dの取組みを通じて、お客様の生活をより豊かにするとともに、社会価値の創造を果たしていく点を、効果的にアピールすることを目的として実施した本イベントでは、「AI&ビッグデータ」「クラウド&外部連携」「翻訳」「デバイス&インタラクション」「センサー&ナビ」「モバイルネットワーク」の6つのゾーンに分けて展示を構成しました。「AI&ビッグデータ」では自然対話や画像認識、新しいモバイル空間統計などの技術、「クラウド&外部連携」ではクラウドの導入を支援するサービスや自治体と連携した地方創生サービスの創造などの取組み、「翻訳」ではSNSで使われる口コミ特有の崩れた書き言葉を翻訳できる技術やてがき翻訳などの、2020年を見据えたさまざまな翻訳サービス、「デバイス&インタラクション」ではさまざまなデバイスとスマートフォンを繋げる新しい仕組みやVR/AR

などを使った新しい取組み、「センサー&ナビ」では磁気を用いた位置マーカやBLE（Bluetooth®*1 Low Energy）ビーコンなどを使った位置検出／顧客行動分析、生体ガス計測によるカロリー収支推定などの技術、「モバイルネットワーク」では次世代移動通信システム5Gの取組みやネットワーク仮想化、PREMIUM 4Gをさらに高速化するための取組みなどについて紹介しました。



写真1 尾上常務による基調講演



写真2 展示の様子



写真3 5G展示の様子

©2016 NTT DOCOMO, INC.
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

*1 Bluetooth®：米国のBluetooth SIG Inc.の登録商標。



写真4 展示の様子（自然対話技術）



写真5 展示の様子（てがき翻訳）



写真6 展示の様子（VRxフィットネス）



写真7 イノベーションチャレンジゾーン展示の様子

恒例となりました招待講演も、スマートフォンを超えるキラーハードウェアの1つとして考えられているロボットの今後の方向性を語っていただくなど、これからのコミュニケーションの形を創造するためのきっかけにすることができたのではないかと考えております。

また、パートナーの皆様とアイデア創出段階から連携し、新たな価値創造のきっかけを作ることを目的に、社員が自ら考え、社外のハッカソンなどで生み出したアイデアや技術を「イノベーションチャレンジゾーン」として展示することで、ドコモR&Dのイノベーション推進に対する取組みについても理解いただくことができましたと思います。

ドコモでは、新しいことが“いつかみんなのあたりまえ”になる、そのようなスマートライフの実現に向けて、これからもお客様への提供価値を最大化するためのR&Dに取り組んでいきます。

【イベント内容】

〈展示〉 65件（NTT展示9件含む）

〈講演〉 5件（うち、社外講演1件）

文 献

- [1] NTTドコモ：“DOCOMO R&D Open House 2015.”
<https://www.docomo.ne.jp/corporate/technology/rd/openhouse/>